



高瀬 能夫さん(77)
さな江さん(69)
津山町・元町第2
1972(昭和47)年10月入籍

バイオリンの音色をいつまでも

★二人のなれ初めは
【能夫】お見合いだったよ。好きとか嫌いだがはながつたね。
【さな江】私より親同士が気に入ってだ。悪い人ではなさそうだったから結婚したの。
★第一印象は
【さな江】バイオリンとピアノの音楽教室をしてるって聞いてたから色白だと思ってたけど、日焼けして真っ黒だったから驚いだよ(笑)。
★お見合いの思い出は
【能夫】釣りが趣味だから、よく一緒に行ったよ。お見合いした日にも釣りに連れてったな。
【さな江】釣りなんて初めてだったけど、いっぱい釣れたから楽しかったよ。
★お互いの性格は
【能夫】意地っ張り。こうといつたらきがねんだ(笑)。
【さな江】神経質で、思ったことをすぐ口にするから大変なの。
★夫婦円満のコツは
【能夫】言いたいことを、はっきり言うこと。そして、嫌なことを次の日には忘れることだね。
★これからしたいことは
【能夫】今でもコンサートに出演してバイオリンを弾いていくけど、いつまでも現役でいたいね。
【さな江】健康が一番。そして、お父さんの演奏をこれから先もずっと聞かせてほしいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさとの未来は」

明けましておめでとうございます。幼少の頃の私は、ガキ大将で自分を従え、近くの鹿ヶ城公園でチャンバラごっこ、追川では水遊びなど、懐かしい思い出ばかりです。また、東京五輪のボート会場候補として話題になった長沼では、夏になると裸でハスの花の中を泳いだものです。

1956(昭和31)年3月に佐沼中学校を卒業し、恩師である小野寺芳雄先生のおかげで夢と希望を抱き、集団就職生として上京しました。8人兄弟の次男坊で進学を言い出せませんでした。が、チャンスがあれば高校に進学したいと心に刻み、仕事に励みました。仕事をしながら、進学意欲に燃えていたところ、高校進学

石川 寿朗さん(77)

東京迫会幹事
迫町(内町)出身



を果たすことができ、卒業後は学校推薦で金融機関で働きました。健康と顧客に恵まれたこともあり、定年後はコンサルタントとして勤め、半世紀以上社会に奉仕できたことに感謝しています。
東京迫会に入会したのは、中学の同級生から勧められたのがきっかけでした。初参加した第32回総会では、会長の横川先輩に会いました。私は、中学の同窓会「辰巳会」の東京世話役を担当していたので、迫会への合流を企画し、第33回総会に臨みました。活況の総会となり、締めには全員で「ふるさと」を合唱し、再会を誓い合いました。
登米市は合併して14年を迎えます。合併当時の人口は9万1千人で、平成30年は8万1千人と聞きました。あの東日本大震災がなければと悔やまれますが、今の状況で日本の人口の自然減少は避けられないと思います。復興には莫大な資金と、何より時間が必要です。ふるさととは誇れる豊かな自然、食物の宝庫です。原点回帰し、安全安心なまちづくりを皆でやり遂げようではありませんか。
頑張ろう「ふるさと」、頑張ろう「迫町」。

おらほの物産

とよま観光物産センター「遠山之里」



2018年は明治が誕生してから150年。多くの観光客が着物やはかま姿になり、明治村の町並みを楽しんでいます。



新商品の「明治の面影」(上)と「もなやか」(下)

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の山田忠則取締役管理部長にお話を伺いました。
Q お勧め商品などを教えてください。
A 明治150年を記念して、欧風アーモンドサブレ「明治の面影」とモナカアイス「もなやか」を新商品として発売。遠山之里でしか買えないオリジナル商品です。「明治の面影」はお土産にお勧め。「もなやか」は抹茶、甘酒、チョコ、黒ゴマ、塩の5種類の味があり、子どもたちにも人気です。また、新品種米「だて正夢」も販売しています。もちもち



数量限定なので購入はお早めに

した食感と甘みの強さが特徴。市内では生産量が少なく、数量限定で販売しています。定番商品として、冬季限定商品の「太白飴」も人気です。
Q これから開催されるイベントなどを教えてください。
A 1月2、3日の2日間、初売りを開催します。初売りでは、豪華景品が当たるくじ引きを実施します。3千円分の買い物をするごとに1回くじが引け、はずれはありませんので、ぜひご来店ください。
【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」
☎0220(52)5566

まちの文芸

作品募集!

●2月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、1月5日(土)までご応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

川柳
居酒屋に明日も行きたや空財布
落ち葉落ち我に返って育毛剤
俳句
朝寒や薬缶の湯気に陽の光
櫓田に餌あさりたる鳥の群
庭隅の白菊手折り夫の墓
伊豆沼の風車の空を雁渡る

杵淵 博 (迫)
佐々木 儀一 (石越)
及川 豊子 (東和)
菅原 いよ子 (東和)
須藤 捷子 (東和)
千葉 勝保 (東和)

鳥渡るミニデイに行く押車
ゆく秋の菩薩笑むとも愁ふとも
紅葉谷行けば清冽沢の水
日に一回一人住いに小鳥来る
夕食は新米食べて皆笑顔
人形の襟元正す菊師かな
山茶花の散りしく小雨降りやまず
屋敷神小さく御座し花竜胆

五十嵐進太夫 (中田)
石川 敦子 (中田)
菊地 完二 (中田)
山内 晨 (中田)
加藤 了子 (南方)
大友 ふき江 (津山)
西條 榮孝 (津山)
武山より子 (津山)

応募総数25作品